

第3回産学官連携サミット パネルディスカッション

しらい かつひこ
白井 克彦 早稲田大学総長

「産学官連携に係る人材育成の取組み」

本学では、かねてより理工系の研究所を中心に多様な産学協同を進める一方、特に近年は大学院における実践的な教育や、地域との実効的な交流にも力を注ぎ、産学官連携に真に貢献する人材の育成と供給を目指している。

ベンチャーや事業化の現実のプロセスに適合した人材育成のためには、技術経営（MOT）と経営管理（MBA）教育の効果的な結合が必要であり、アジア太平洋研究科ではMOT、戦略経営（SM）、アントレプレヌールシップ経営（EM）から構成される経営専門職大学院を開設して、そうした要請に応えている。

また北九州市に開設した情報生産システム研究科では、アジア太平洋地域との連携を見据えながら、ボーダレス化した製造業界で新しい価値を作り出す戦略的人材を育てていく。

21世紀COEプログラム拠点等、有望な研究分野を重点的に推進するとともに、それを人材育成につなげていく仕組みも重要である。ナノ理工学分野では、高度な研究成果と広範な連携の上に立って、スーパーテクノロジーオフィサーや連携教授等、今後新たなキャリアパスの創造等を図っていく。

新技術・新産業の創出という観点からも、ベンチャーの育成や地域との連携を推進しなければならない。東京都墨田区との包括協定では、地域振興のためのプロジェクトや教育活動・人的交流の展開等、本学の有する知的資産を生かした多様な協同を進めている。

以上のような取組みに基づくとりわけ人的資源における貢献等を通じて、日本経済に創造性・革新性をもたらす産学官の〈知の共創〉を実現していきたい。